

## 平成22年度耳鼻咽喉科後期研修プログラム

### ・ 研修目標

耳鼻咽喉科専門医として必要な外来診療、手術、入院患者管理を習得すること。耳鼻咽喉科専門医の資格は2年間の初期研修終了後、4年以上の専門領域研修（そのうち3年以上は耳鼻咽喉科専門医研修施設における研修でなければならない）を修了した者となっています。厚生連高岡病院は耳鼻咽喉科専門医研修施設に認定されており、4年間の後期研修の後、耳鼻咽喉科専門医の資格を得ることができます。希望があれば2年間の厚生連高岡病院での研修の後、金沢大学医学部付属病院での2年間の研修を受けることも可能です。

### ・ 研修期間

2～4年

### ・ 指導責任者およびスタッフ

責任者：岡部 陽三（耳鼻咽喉科診療部長）日本耳鼻咽喉科学会専門医  
副責任者：西村 俊郎（耳鼻咽喉科部長待遇）日本耳鼻咽喉科学会専門医  
日本気管食道科学会専門医

その他のスタッフ：辻 亮

### ・ 耳鼻咽喉科診療の概要

日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設

医師数：常勤3名

患者数：外来 50～70名/日、入院 10～15名/日

手術件数：年間250件

主な手術とその件数：

鼓室形成術30件、副鼻腔内視鏡手術30件、口蓋扁桃摘出術30件、頭頸部腫瘍手術20件など

耳鼻科領域の検査機器：オーディオメータ、ティンパノグラム、語音聴力検査、遊戯聴力検査、DPOAE、外来顕微鏡、電子ファイバースコープ、嗅覚検査装置、電気味覚計、鼻腔通気度計、検査部に重心動揺計、平衡機能検査装置一式、ABR、超音波エコーなど

当院耳鼻咽喉科が主催する研究会：

呉西地区耳症例検討会：毎年9月に中耳手術の症例検討と特別講演

呉西地区耳鼻咽喉科研究会：毎年2月に頭頸部腫瘍の症例検討と特別講演

その他、富山県耳鼻咽喉科地方部会、北陸耳鼻咽喉科地方部会、日本耳鼻咽喉科学会講演会、専門医講習会などに積極的に参加・発表していただきます。

・研修の週間スケジュール

時間	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18						
曜日																		
月	外来診察 病棟診察						手術											
火							外来検査			術前 CC								
水													手術					
木													予約外来			入院 CC		
金													手術					

指導原則・方法

指導医の監督の下、以下の業務を担当していただきます。

- 1．外来初診・再来患者の診察、検査、治療
- 2．入院患者の主治医として診察、検査、治療
- 3．手術の介助、執刀
- 4．オンコール当番医として救急患者対応
- 5．月2，3回の院内外科系当直・日直
- 6．健康保険制度を理解する意味でレセプトの点検
- 7．年数回の高岡市聾学校の検診
- 8．病棟の看護師勉強会の講師

・研修行動目標

【第一年度】

- 1．耳鼻咽喉科の一般診察（鼓膜所見、鼻内所見、喉頭所見）が十分できること。
- 2．中耳・副鼻腔・頭頸部腫瘍の CT 所見を正確に読み取れること。
- 3．鼓膜切開、耳管通気などの外来処置が安全にできること。
- 4．頭頸部腫瘍に対する超音波エコー、針生検ができること。
- 5．食道透視で嚥下障害の評価ができること。
- 6．救急外来で咽頭異物、鼻出血などに対応できること。
- 7．耳鼻咽喉科一般手術の介助者として手術の進行を助けること。
- 8．指導医の監督の下、以下の手術を執刀医として行えること。  
扁桃摘出術、アデノイド切除術、鼓膜チューブ挿入術、鼻茸切除術、  
リンパ節生検声帯ポリープ切除術、鼻骨骨折徒手整復術など
- 9．急性感染症（扁桃周囲膿瘍、深頸部感染症など）の入院治療、点滴管理ができること。
- 10．放射線治療中の喉頭癌患者の全身管理と補助化学療法ができること。

【第二年度】

- 1．聴力検査データ、パッチテストなどから中耳手術の適応を判定できること。
- 2．外来にて副鼻腔炎術後の局所管理ができること。
- 3．老人性難聴、突発性難聴の指導と補聴器管理。
- 4．めまい患者の診断と治療。
- 5．顔面神経麻痺の診断と治療
- 6．頭頸部癌手術の介助者として手術の進行を助けること。
- 7．指導医の監督の下、以下の手術を執刀医として行えること。  
鼓膜形成術、顎下腺摘出術、緊急気管切開術、喉頭腫瘍生検、耳瘻管摘出術、  
副鼻腔内視鏡手術（嚢胞など簡単なもの）、鼻中隔矯正術など
- 8．頭頸部癌患者の動注を含む全身化学療法を計画、実施すること。
- 9．癌末期患者のターミナル・ケアに参加し、患者・家族と信頼関係を築くこと。

・他科研修

麻酔科、放射線科などの研修を希望する場合は、希望する科の了承が得られれば可能です。

・他院での研修

受け入れ先の病院の了解が得られれば、金沢大学関連病院（呉西地区では砺波総合病院、高岡市民病院、南砺中央病院など）での研修が可能です。

・後期研修終了後について

大学院入学を希望する場合は金沢大学耳鼻咽喉科へ進学できます。引き続き当院での在職を希望する場合は相談の上、病院の承認が得られれば採用されます。